



## アポリテックサーフ

1 液水性シリコン樹脂サーフェーサー

APOLITEC サーフは、幅広い下地に適応する、付着性に優れた水系樹脂サーフェーサーです。隠蔽性にも優れ、アポリテック上塗材のとまりや光沢感を引き出します。

### 主な特徴

- 1：滑らかな質感でフラットな塗面を作り、アポリテックファインの仕上がりを引き出します。
- 2：微弾性を有しているので、下地のへアクラックにも追従します。
- 3：幅広い下地に適応します。
- 4：優れた隠蔽性を持ち、濃淡の色変更も可能にします。
- 5、ネタが配りやすく、凹部へ材料が入りやすい粘性になっています。

### 適応する下地

モルタル・コンクリート・ALC・サイディングボード・その他旧塗膜（アクリルリシン、吹付タイルなど）

※高耐候塗料や光触媒などの下地の場合にご相談ください。

※ALC下地にはセメント系下地調整材などで下地処理を行ってください。

### 荷 姿 / 塗布面積

15kg / 缶 約 37 ~ 75 m<sup>2</sup> / 缶

### 色 相

白色

### 塗 装 条 件

工法	素地 / 材料	塗回数	塗布量 (kg / m <sup>2</sup> )	希 釈	塗装間隔 (23℃)	塗装用具
下地調整	ゴミ、セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮スキ、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とします。					
下塗り	アポリテックサーフ	1	0.20~0.40kg / m <sup>2</sup>	2 ~ 5%	3時間以上	刷毛・ローラー・エアレスプレー

※施工用具・条件は代表的なものです。

※塗装間隔・所要量は標準的なものです。施工方法・器具・被塗物の形状・素地の状態・施工条件により多少の幅が生じることがあります。

※所要量の確認は塗見本との比較または単位体積当たりの使用量で確認してください。

※既存塗膜の状態によっては下塗材が必要な場合があります。

※下地調整は確実に行ってください。既存塗膜の脆弱部分は除去してください。

※既存塗膜の凹凸が激しい場合は凸部をカットしてください。

## 使用上の注意

- 1、下地がコンクリート、モルタルの場合、素地の乾燥は十分に行い、水分 10%以下、PH10 以下で施工してください。
- 2、外部の下地で巣穴、段差などがある場合、セメント系下地調整材などで処理してください。
- 3、シーリング材の上に施工する場合、シーリングの種類などにより、汚染、密着不良、又は塗膜に割れが生じることがあります。
- 4、材料は 0℃以下になる場所及び直射日光の当たる場所での保管は避けてください。使用後は密栓し、水やアルコール等の混入は避けて下さい。
- 5、施工時は、換気を十分に行ってください。
- 6、施工時の気温が 5℃以下、湿度が 85%以上または結露の発生が考えられる場合は、施行を行わないでください。
- 7、施行標準仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工を行ってください。
- 8、施工直後の降雨、結露等により塗膜の膨れ、剥離、白化等の不具合を生じる場合があります。降雨、結露、降雪のおそれ、または強風の恐れがある場合には施工を行わないでください。
- 9、磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると、変色したり溶解します。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合には、必ず塗装面のマスキングを行ってください。
- 10、軽量モルタル、ALC パネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどに施工する場合は、蓄熱したり、水の影響や、下地の状態、塗装時の環境などの条件により、塗膜の膨れ、剥がれなどが生じることがあります。
- 11、被塗物の形状、膜厚、色目、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合があります。また、刷毛、ローラー塗装時の塗継ぎ箇所で艶むらを生じやすい傾向にあります。試し塗りの上、本施工してください。
- 12、塗装終了後は直ちに器具等を洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- 13、希釈した製品は、長期間保管後使用しないでください。
- 14、取扱いは、慎重に扱い、ラベルの注意事項に従って下さい。詳細については SDS をご参照ください。

## 安全衛生上の注意

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解してお取扱ってください。
- 粉塵 / ガス / 蒸気 / スプレーなどを吸入しないでください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 飲み込んだ場合：気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 粉塵、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診断を受けてください。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- 施錠して子供の手の届かない場所で保管してください。輸送中も 50℃以上の温度に暴露しないでください。
- 内容物 / 容器を破棄する時には、国や各自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。 ◇詳細な内容、表示外の事項については、製品安全データシートをご参照ください。